

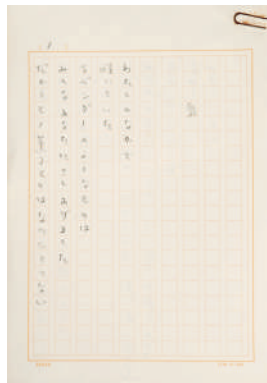
装いの翼 いわさきちひろ 茨木のり子 岡上淑子

装うことを喜びとしながら、多感な時期を戦禍のなかで過ごした三人の女性。
それぞれの表現で道を切り拓き、自由と美を求めた。

いわさきちひろ(1918-1974)、茨木のり子(1926-2006)、岡上淑子(1928-)は、第二次世界大戦後、それぞれ、絵本画家、詩人、美術作家となり、美しいものへ誠実にまなざしを向けました。
本展では、2025年9月刊行の行司千絵・著『装いの翼 おしゃれと表現と——いわさきちひろ、茨木のり子、岡上淑子』(岩波書店)を起点として、「装い」をテーマに3人の女性作家の素顔に迫ります。
それぞれの作品とことば、愛用の品や写真などを展示し、三者三様の美意識や生き方と、自由と平和を求める共通の思いを浮き彫りにします。



いわさきちひろ
バラ飾りの帽子の少女
1971年 ちひろ美術館蔵



茨木のり子 「泉」自筆原稿 個人蔵
撮影：小畑雄嗣
『茨木のり子の家』(平凡社 2010年)より



岡上淑子 彷徨 1956年 個人蔵
©OKANOUE Toshiko
Courtesy of The Third Gallery Aya



いわさきちひろ
Chihiro Iwasaki

1918(大正7)年、福井県武生(現・越前市)生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。1950年松本善明と結婚。翌年長男猛誕生。子どもを生涯のテーマとして描く。絵本に『おふろでちゃぶちゃぶ』(童心社)、『あめのひのおるすばん』、『こたりのくるひ』(至光社)、『戦火のなかの子どもたち』(岩崎書店)など。



撮影：谷川俊太郎

茨木のり子
Noriko Ibaragi

1926(大正15)年、大阪で生まれ、6歳のときに医師である父の転勤により愛知県西尾町(現・西尾市)へ移住。帝国女子医学薬学専門学校(現・東邦大学薬学部)卒業。24歳で詩作活動を開始し、川崎洋と同人「樞」を結成。谷川俊太郎・岸田衿子・大岡信らとともに詩壇を牽引する。詩集に『対話』(不知火社)、『見えない配達夫』(飯塚書店)、『自分の感受性くらい』(花神社)、『倚りかからず』(筑摩書房)など。



岡上淑子
Toshiko Okanou

1928(昭和3)年、高知県生まれ。文化学院デザイン科卒業。22歳から約7年間独自にコラージュを制作。瀧口修造に見出され、1953年、タケミヤ画廊で初の個展。同年、「抽象と幻想」展(東京国立近代美術館)にも出品。2000年、44年ぶりの個展「岡上淑子フォト・コラージュ夢のしずく」開催後、国内外で作品を展覧。2018年、初回顧展「岡上淑子コラージュ展—はるかな旅」を高知県立美術館で開催。

展示関連イベント

*トークイベント以外は参加費無料(入館料別)

●行司千絵 特別ギャラリートーク

10月31日(金)14:00~14:30

講師：行司千絵(新聞記者、『装いの翼』著者)
聞き手：当館学芸員/申し込み：不要

●トークイベント

甥夫婦が語る素顔の茨木のり子

11月22日(土)14:00~15:30

講師：宮崎治(茨木のり子甥)、薫(甥の妻)
聞き手：行司千絵(新聞記者、『装いの翼』著者)
会場：【ちひろ美術館・東京】

定員：40名/参加費：1200円(入館料別)

【オンライン】定員：100名/参加費：900円

申し込み：10/22(水)より公式サイト、TELにて

●松本 猛ギャラリートーク

12月21日(日)14:00~14:40

会期中のイベント

○わらべうたあそび

11月1日(土)11:00~11:40

講師：服部雅子

(西東京市もぐらの会代表・はとさん文庫主宰)

対象：0~2歳児と保護者

定員：8組16名

申し込み：10/1(水)より公式サイト、TELにて

○成人の日特典

2026年1月3日(土)~12日(月・祝)まで、
新成人の方は無料でご入館いただけます。

○ギャラリートーク

毎月第1・3土曜日 14:00~14:30

○絵本のじかん

毎月第2・4土曜日 11:00~11:30

協力：NCBN(ねりま子どもと本ネットワーク)



*開館情報・イベント内容などは
予告なく変更する可能性があります。
ご来館前に最新情報をご確認ください。

展示関連書籍

『装いの翼 おしゃれと表現と——
いわさきちひろ、茨木のり子、岡上淑子』
行司千絵・著/岩波書店
定価2,640円(本体2,400円+税10%)
2025年9月26日発売



〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2 TEL.03-3995-0612

●開館時間=10:00~17:00(入館は閉館の30分前まで) ●休館日

=月曜日(祝休日は開館、翌平日休館)、年末年始(12月28日~1月2

日) ●入館料=大人1200円/18歳以下・高校生以下無料/年間

バスポート3000円 ●交通 ○電車の場合=西武新宿線上井草駅下

車徒歩7分 ○バスの場合=JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公

園駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分/西武池袋線石神井公

園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

chihoro.jp

